

てらぴあぽけっと板橋駅前通信

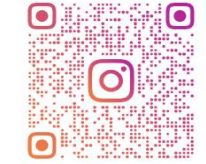
12月号



教室ウェブサイト



LINEで問い合わせ



Instagram



空き情報

子どもたちの成長の瞬間！

利用されているお子さんが、療育を受け始めたきっかけや、その後の様子についてをどの様に療育を計画してきたかを交えて、ご紹介します。



「ねえねえ」「ねえ」から
「先生、これ見て」へ

年長のお子さんに多く見られるのが、「ねえねえ」「ねえ」という呼びかけです。

気持ちは伝えたいのですが、これだけでは何をしてほしいのかが分かりにくいことがあります。
見てほしい時は「先生、これ見て」
手伝ってほしい時は「先生、これ手伝ってほしい」
と、用件まで言葉にすることで、相手に伝わりやすくなります。
人の多い学校では、「ねえ」だけでは振り向いてもらえない場面もあります。
言い方を少し変えることで、伝える機会を減らさないことが大切です。

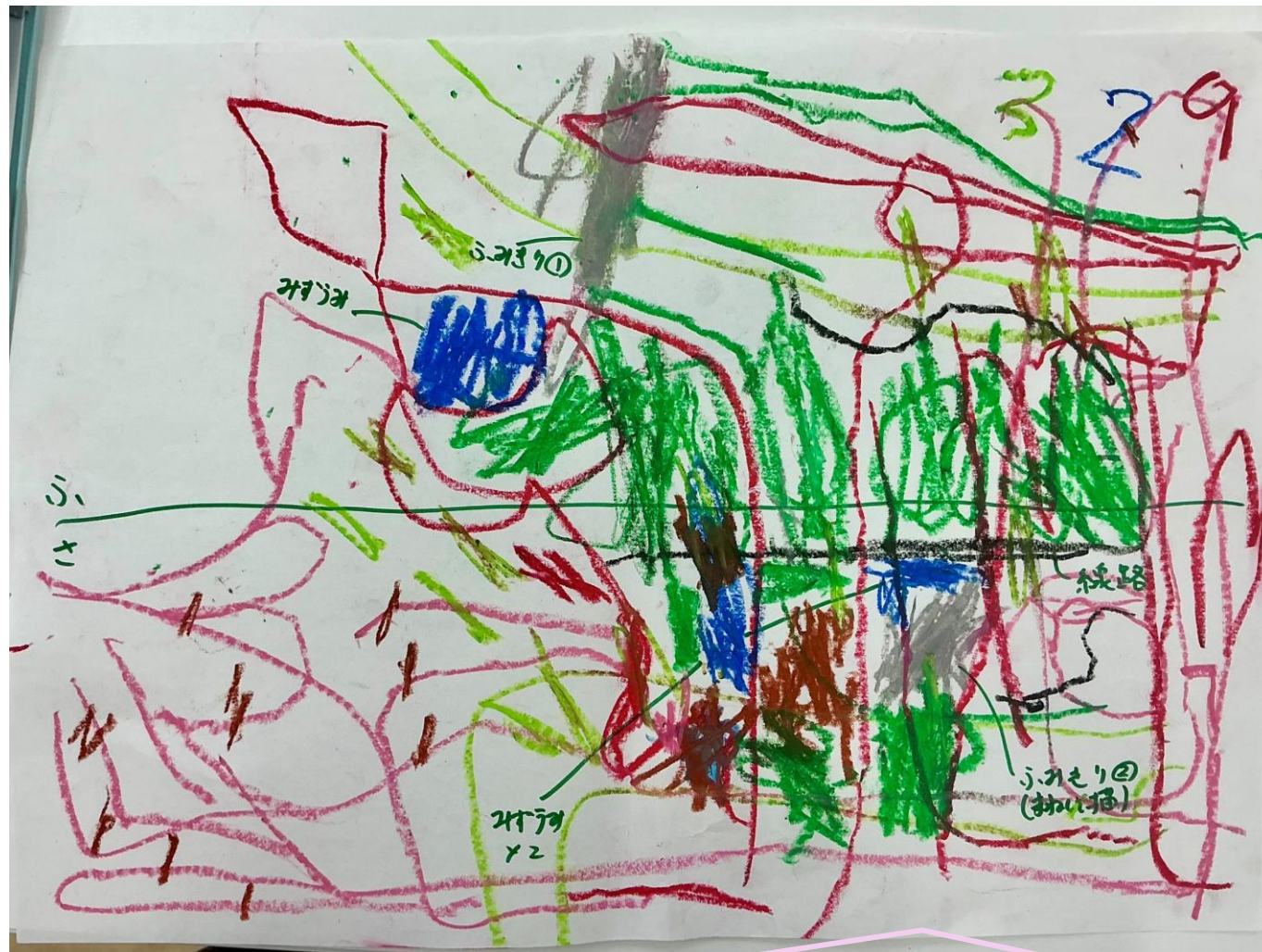
練習を重ねてきたお子さんが、ある日自然に
「先生、ドア開けて」
と伝えてくれたことがありました。
子どもたちは、学んだ言葉を少しずつ生活の中で使い、新たな場所に行く準備をしています。

一緒に描くことで広がる「お絵かき」の力

塗り絵や線つなぎなどの教材は、ペンを動かす練習になります。
一方で、モチーフを見たり描いたりするためには、大人と一緒に描く関わりが大切なこともあります。

方法は主に2つあります。
ひとつ目は、ガイドラインを引いてあげることです。
たとえば、いちごの絵で葉っぱと実を線取りしておくと、「ここは緑」「ここは赤」「この中を塗る」と、視覚的に分かりやすくなります。
ふたつ目は、お手本を描いて、真似して同じように描いてもらうことです。
点や丸、一本の線が描けるようになってきたら、お顔や簡単なキャラクター、絵描き歌などがおすすめです。
はじめは一緒に取り組み、少しずつ一人で描けるようになることで、お絵かきは「一人で楽しめる活動」へと広がっていきます。

おうちセラピー



「お子様同士の関わりあいの場面をつくってほしい」
というご希望をいただくことがあります。まずは先生とのコミュニケーションの練習を重ねることで、
「動作を真似する」「呼びかけに応じる」「言葉や物を介して思いを伝える」
といった場面が少しずつ生まれてきます。
一人ひとりの学習を大切にしながら、やがて子ども同士の学びへとつなげていきたいと考えています。

今月の活動テーマ

子ども同士の学びが広がる瞬間を大切に

相手の様子を見て、自分もやってみる。「見て」と言われたので、「見て」と自分のも見てもらう。
子供同士の関わりが生まれる瞬間を作って、新しい経験ができるような場面づくりをしています。

職員紹介

新しい職員の紹介をします。

れいせんせい（きよせ）


11月より入社。てらぴあぽけっとの研修を受け、セラピーのOJTを行ってきました。すでにお子様の担当をした方もいますが、今後とも一緒にしていきますので、よろしくお願いいたします。
お絵かきが上手な先生です。


あやせんせい（なかの）


12月から、来てもらっています。西日暮里の教室ですでに1年程セラピーをしてきています。
丁寧なフィードバックを心がけています。

1月にまた二人の先生が入る予定です。またこちらで紹介致します。

お知らせ

 厚生労働省の児童発達支援ガイドラインに基づくアンケートに、ご回答いただき、誠にありがとうございました。
頂きましたご意見を反映しながら、より良いサービスの提供と、必要とされる場所としてのてらぴあぽけっとの教室を作ってまいります。

 令和8年、新年度のレギュラー日時利用希望の調査アンケートを1月にお配りする予定です。まだ少し先の予定になりますので、年度末にもう一度お配りして、調整をしていきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

 年始の営業は1月5日です。令和7年もてらぴあぽけっとをご愛顧頂きまして、ありがとうございました。
来年もより良い一年になりますように。

知ってる？発達支援Q&A

地域にある、子育て支援と共に、児童発達支援をお役立て頂く目的でサービスや豆知識を紹介していきます。

相談支援専門員のこと

❧ 相談支援事業所ってどんなところ？

お子さんの発達支援や福祉サービスを利用するときに、何から始めたらいいのか迷ったことはありませんか？
そんなときに頼りになるのが「相談支援事業所」です。ここには「相談支援専門員（通称：相談さん）」という職員がいて、利用者やご家族の相談にのってくれる専門家です。

❧ 相談さんはどんなことをしてくれるの？

相談さんは、お子さんやご家族の状況を聞きながら、「サービス等利用計画」という計画書を作ってくれます。
これは、療育を始めたいときや、サービスを更新するときに必要な書類で、役所に提出するものです。初めて申請をするときも、手続きの流れを丁寧に案内してくれるので安心です。

❧ どんなメリットがあるの？

・手続きや書類作成の手間が減ります。

・お子さんの成長や将来の見通しについて一緒に考えてもらえます。

・身近に相談できる人が増えることで、気持ちもずっと楽になります。

・家庭での悩みや、療育・学校生活のことなど、ちょっとしたことも気軽に相談できます。

❧ どうやって利用するの？

相談支援事業所は、各区役所の福祉課などでリストを見ることができます。
また、インターネットで「（地域名） 相談支援事業所」と検索すると、お近くの事業所を見つけることもできます。

事業所によっては「子どもの相談が中心」「成人の方専門」など違いがありますので、事前に確認してから連絡するのがおすすめです。



北区の情報サイト



板橋区の事業所リスト



豊島区の事業所リスト



足立区(EXCEL形式)

